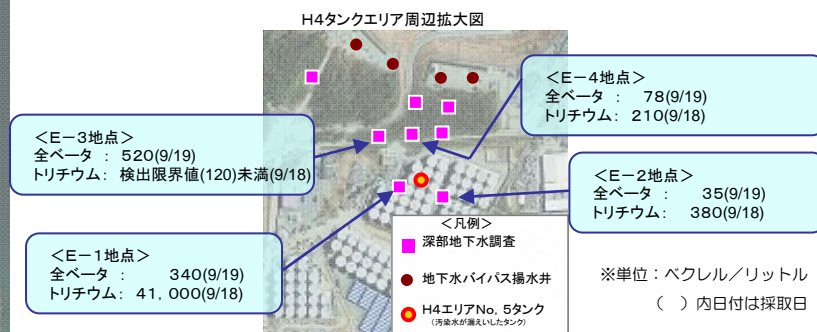


タンクエリア周辺の調査状況

H4タンクエリアにある**ボルト締め型タンク** (NO. 5タンク) から**高濃度の汚染水が300トン漏えい**していることを確認しました(8月19日)。そのため、汚染水の拡散状況を広域的に把握するため**モニタリングの強化**を進めています。モニタリングの結果は当社ホームページ等で速やかにお知らせしてまいります。

(1) H4タンクエリア周辺地下水の値(抜粋)



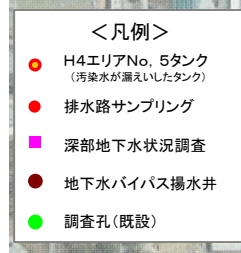
E-1地点(漏えい箇所)の北側で高濃度のトリチウムが検出されています。

(2) 地下水バイパス揚水井の値

揚水井	採取日	全ベータ	トリチウム
			※法令告示濃度: 60,000ベクレル/リットル
A系統	No.1	検出限界値(15)未満	8.9
	No.2	検出限界値(15)未満	11
	No.3	検出限界値(15)未満	検出限界値(6.1)未満
	No.4	検出限界値(15)未満	47
B系統	No.5	検出限界値(15)未満	11
	No.6	検出限界値(15)未満	110
	No.7	検出限界値(15)未満	450
	No.8	検出限界値(15)未満	56
	No.9	検出限界値(15)未満	49
	No.10	検出限界値(15)未満	260
C系統	No.11	検出限界値(15)未満	270
	No.12	検出限界値(15)未満	740

※単位: ベクレル/リットル

(3) 南放水口・排水路の値(抜粋)



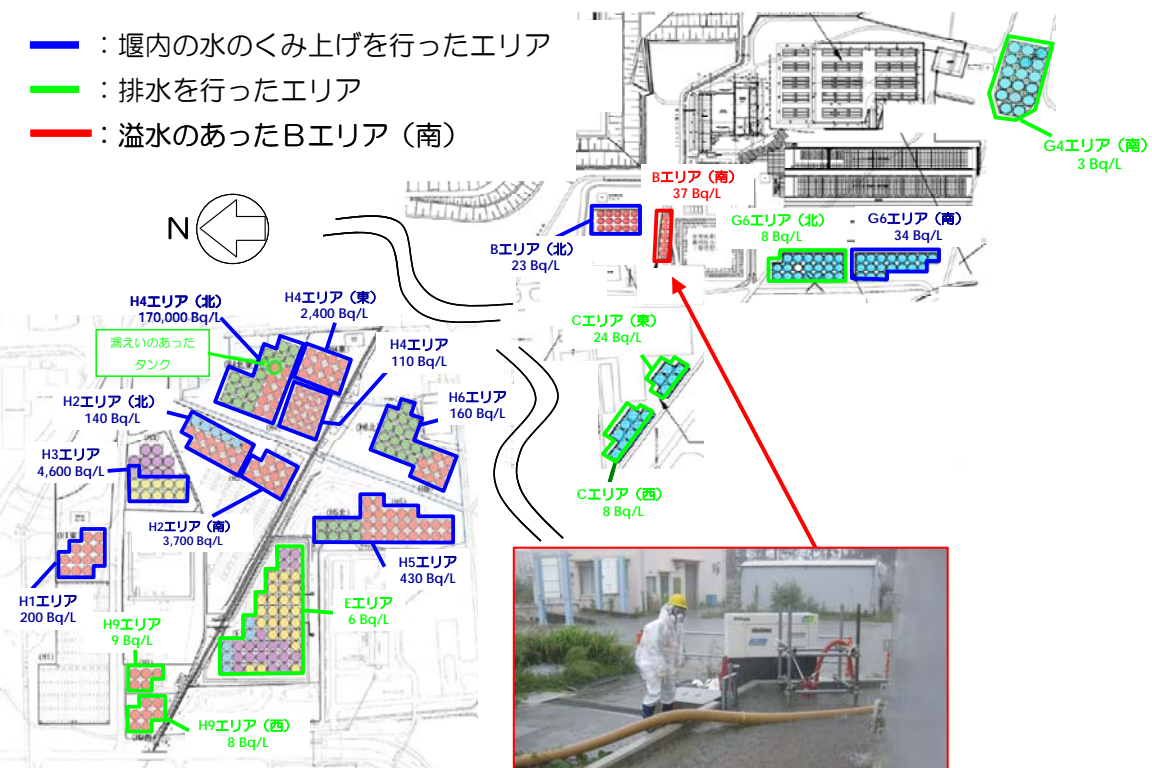
第1回汚染水対策現地調整会議(平成25年9月9日(月)開催)

- 決定内容
- ①汚染水の流出を防止するため、タンク周辺の堰のかさ上げ
 - ②タンクからの汚染水漏えいによる海への流出リスクを低減するため、側溝(排水溝)の暗きょ化(外部からの汚染水の流入の防止措置)
 - ③水処理循環ラインにおけるタンク周辺の漏えい対策強化(堰の設置と基礎部のコンクリート化)

台風18号接近に伴う降雨により堰内にたまった水の対応について

堰内たまり水の全ベータ放射能分析結果

- : 堰内の水のかみ上げを行ったエリア
- : 排水を行ったエリア
- : 溢水のあったBエリア(南)



※各タンクエリアの溜まり水の対応

①くみ上げ対応を行ったエリア

エリア名	9月15日採取 (単位:ベクレル/リットル)	くみ上げ量	堰内の水位変動
H1	200	約20t	約13cm→約2cm
H2(北)	140	約90t	約5cm→約3cm
H2(南)	3,700	約160t	約5cm→約4cm
H3	4,600	約140t	約16cm→約4cm
H4(北)	170,000	約260t	約11cm→約3cm
H4(東)	2,400	約120t	約6cm→約4cm
H4	110	約100t	約6cm→約4cm
H5	430	約120t	約15cm→約14cm
H6	160	約260t	約15cm→約5cm
B(北)	23	約10t	約20cm→約5cm
B(南)	37	約30t	約25cm→約6cm
G6(南)	34	約100t	約20cm→約5cm
(小計)		約1,410t	

②排水対応を行ったエリア

エリア名	9月15日採取 (単位:ベクレル/リットル)	排水量	堰内の推移変動
H9	9	約60t	約16cm→約4cm
H9(西)	8	約80t	約16cm→約3cm
C(東)	24	約70t	約25cm→約9cm
C(西)	8	約160t	約25cm→約2cm
E	6	約460t	約16cm→約6cm
G4(南)	3	約90t	約20cm→約14cm
G6(北)	8	約210t	約20cm→約3cm
(小計)		約1,130t	

堰内の放射能濃度が十分低い値であることを確認したエリアの雨水を排出しました。